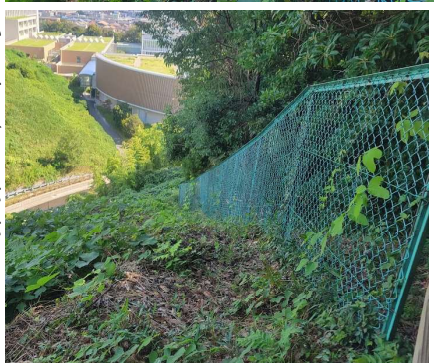
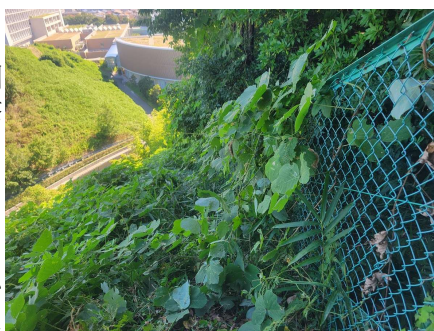


9 月の作業から

北側フェンス病院側周りの整理

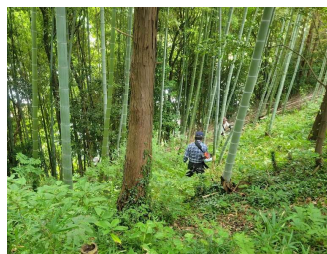
北側のフェンスは、市立病院側でクズが繁茂してフェンスに巻き付いている部分を 9 月に入ってからも外側 1 m の刈り払いと、巻きついたクズなどを除去しました。写真上が作業前、下が作業後になります。



モウソウチク林灌木整理

モウソウチク林内に繁茂した灌木の刈り払いを、9 月に入り行いました。竹林の整理は、この後 10 月末までに、発生してから 5 年以上経過したタケと今年発生した 1 年目のタケを適

正配置(1000 m²あたり 200 ~ 300 本程度)になるように伐採整理を行う予定です。写真左が作業中、実が作業後で



す。



彼岸花が満開です

猛暑が続いた今年ですが、ヒガンバナがその名の通り、彼岸の入り(今年は 9 月 20 日)と共に咲き始めました。(写真は、9 月 20 日の作業日に撮ったものです。)



10 月の予定

主たる作業

- ・シイタケの榎場異動(昨年植菌した原木)
- ・竹林の整備
- ・シイタケ原木の伐採(来春植菌予定)

田和山の樹木 第 65 回 サンショウとカラスザンショウ

田和山にあるミカン科の樹木は、前回のキハダの他にサンショウとカラスザンショウがあります。サンショウは低木で 3 m、カラスザンショウは高木で 10 m 以上の樹高になり、見た目も用途も全く異なるものです。いずれも鋭い棘を持っています。

サンショウは「木の芽」ともいわれ春の山菜の一つで、独特の辛み、香りがあり庭に余裕があれば植栽したら良い木です。サンショウは、雌雄異株のため山椒の実を取るためには、雌木でないとだめです。サンショウの棘は、写真左のように葉の付け根に対生して存在しています。見た目が良く似たイヌザンショウはこの棘が互生しておりそれで区別します



カラスザンショウは、葉が長さ 5 ~ 15 cm の小葉が 9 ~ 15 対集まってできており、全体として長さ 30 ~ 80 cm の大きな羽根状になります。葉は濃い緑色で縁には浅いギザギザがあり、裏面は粉を吹いたように白くなっています。葉の軸や裏面、枝に細かな棘があり、若い葉を

揉むとミカン科に特有の強い香りがします。サンショウのように若芽や果実を食用とすることはありません。クロアゲハやカラスアゲハなどの蝶の食草です。

サンショウは、灌木整理の際に伐採されることが多く、田和山には 10 数本、カラスザンショウは、モウソウチク林に樹高 10 m を超える木が 1 本だけあります。その 1 本は、写真右のように棘が丸くなっています。



今後の活動予定 10 月 3 日(金)、10 月 10 日(金)、10 月 18 日(土)、10 月 24 日(金)、10 月 31 日(金)、11 月 7 日(金)、11 月 15 日(土)、11 月 21 日(金)、11 月 28 日(金)です。時間は 13:30 から、ただし土曜日は 9:00 からとなります。